

Ⅲ-10

考えよう！子どもの安全・安心

対象：主に学童期の子どもをもつ保護者  
時間：45～60分程度

ねらい	子どもの周りに潜む危険に目を向け、子どもと一緒に危険について考えることができるように、保護者・地域の人の安全意識を高める。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭でどのようなことに気をつけ、声掛けをしているかを振り返ることができる。</li> <li>○ 人（不審者）だけでなく、場所（危険箇所）にも注目し、危険性を考え各家庭や地域の実態に合わせて具体的な危険予防の方法を考えることができる。</li> </ul>		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あらかじめ4～6人のグループに分かれておく。(グループ編成は、参加対象を考慮して編成し、仲のよい人ばかりで構成されないよう配慮する。)</li> <li>○ 時計      ○ 筆記用具      ○ 付せん紙      ○ 模造紙      ○ マジック      ○ 資料</li> <li>○ ワークシート（参加者配付用・ファシリテーター用）      ○ ヒントカード</li> </ul>		
時 間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク (自己紹介)	・自由に意見が出やすい雰囲気づくりを行う。 (自己紹介も含めて)	筆記用具 名札
展開 10～15分  15～20分	<b>ワーク1</b> ・「不審者」は誰？ ・「危ない場所」はどこ？ ワークシートのイラストを見てクイズ形式で意見を出し合う。	◎不審者を見た目だけで判断するのは難しいことを確認し、人（不審者）だけではなく、場所にも注意することが大切であることに気づくことをねらいとする。 ・なぜそう思ったのかを確認する。 ・まず、参加者に家庭でどのようなことに気をつけるよう子どもに話しているかたずね、2～3人に発表してもらう。 ・「入りやすく、周りから見えにくい」場所で犯罪が起こりやすいことを確認する。 ・犯罪が起きにくい場所、起きやすい場所に関する資料を配付し補足する。 ・身近なところでこのような場所があるか考える。	資料1
	<b>ワーク2</b> ・家庭や地域でできることについて、考えたことを付せん紙に書き込む。 ・書き込んだ内容をもとにグループ内で話し合う。 ・グループの意見を発表する。	◎子どもが犯罪にあわないように、家庭や地域で普段からできることについて考えることをねらいとする。 ・家庭でできること、地域でできることを色分けした付せん紙1枚につき1項目を書き込む。 (項目を分類し、グルーピングしてもよい。) ・グループごとに、出てきた主な意見を分類し発表する。 ・各グループから意見が出にくかった場合は、ヒントカードを全体に向けて提示し、考えてもらい補足する。	付せん紙 (2色) 模造紙 マジック ヒントカード
まとめ (ふりかえりとまとめを含めて 10～15分)	<b>ふりかえり</b> ・自分や地域で取り組んでみようと思うことを書く。 ・今日の学習で気づいたことを話し合う。	◎学習について振り返り、自分で取り組んでみようと思うことを考える。	
	<b>ま と め</b> ・資料を提示する。	・子どもが犯罪にあわないために家庭でルールを決めたり、正しい防犯知識を身につけさせたりすることや、地域で子どもを見守ることの活動例を挙げ、日頃からのあいさつや近所づきあい（地域の行事への参加等）の重要性について資料を使って補足する。	資料2